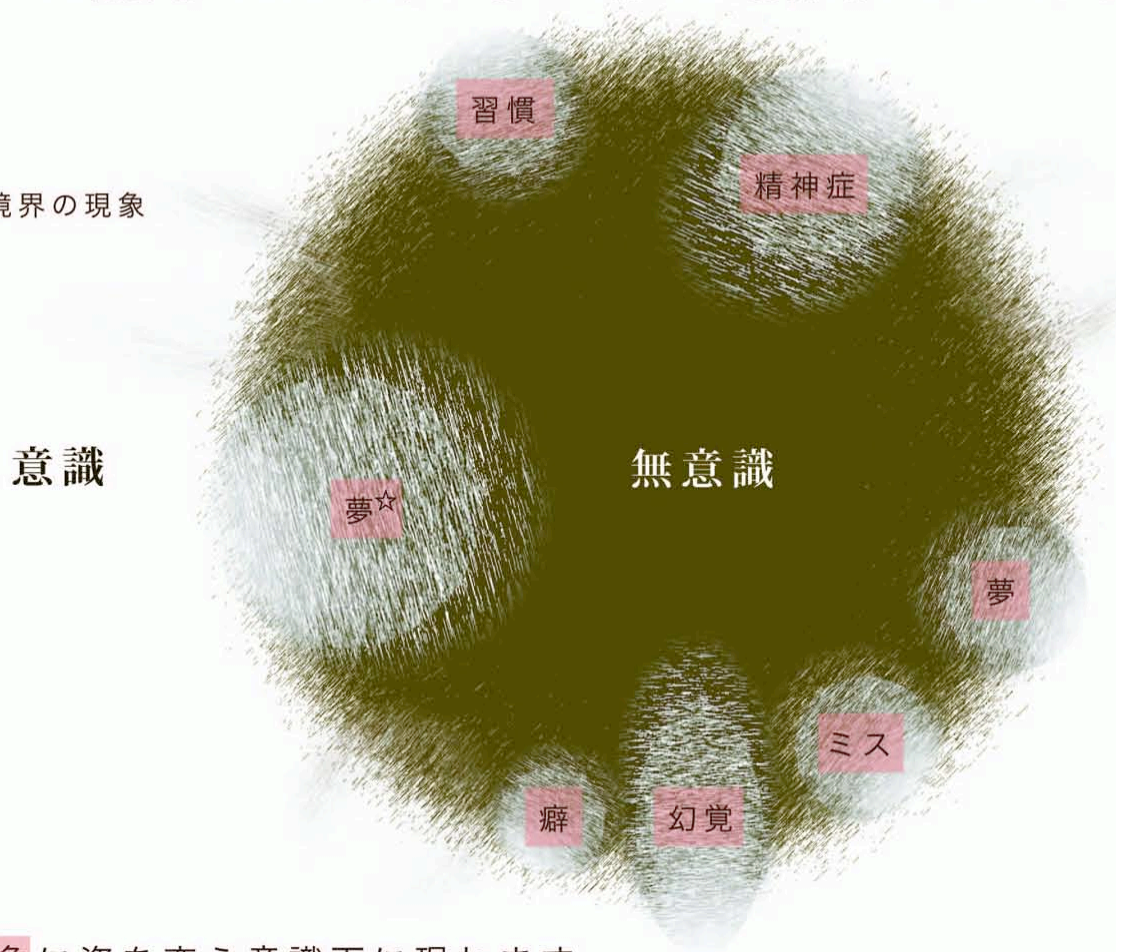


# 夢と 無意識と 想像

制作をする時には私たちは  
沢山の解決しなければならないことがあり  
解決をする為にたくさんの情報を得て  
頭をフル回転させ「想像※」をします。  
この様な「想像」をしている途中で  
ふと考えが浮かぶことはありませんか。  
意識的に考えているのにも関わらず、ふっと  
無意識的に何かが浮かんできたりすることがあって、  
それは一体何なのだろうかと考えました。

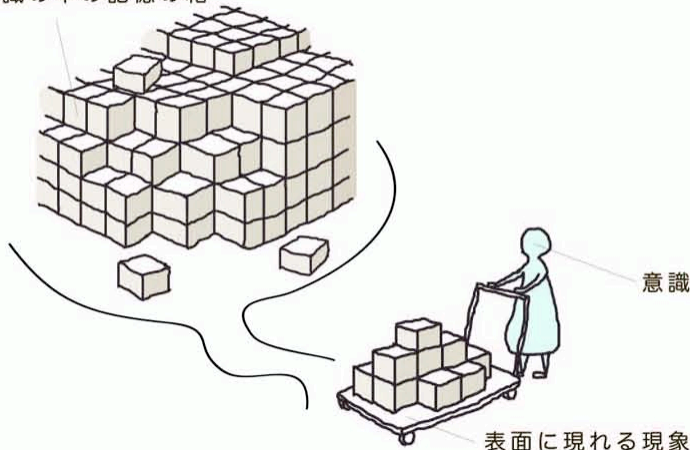
無意識と意識の間には境界線ではなく常に動きを持った境界域があります。

※無意識と意識との境界の現象



無意識\*は様々な現象に姿を変え意識下に現れます。

無意識の中の記憶の箱



〈※想像の定義〉

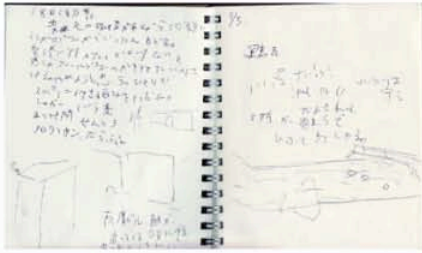
記憶を組み合わせて  
変質させる事

〈\*無意識の定義〉

自身にとって必要でない勝手に判断  
されているか、時間の経過により今の  
自身に必要とされていることと記憶が  
結びつかない為に認識出来ない部分

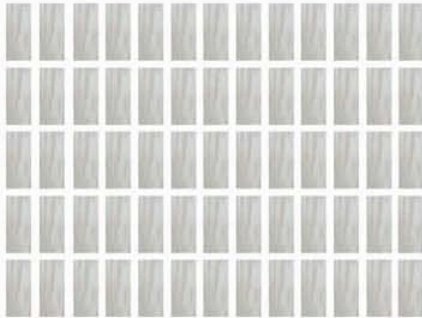
〈☆夢の定義〉

ほぼ無意識的に、新しい情報と過去の  
記憶を結びつけ整理する為の処理作業



## 夢の日記

寝る前にノートを枕元に起き寝る、夢から覚めまだ起きていないのかいないかの状態でノートに夢の記録と軽いスケッチなどを描く、夢はほとんどの夢が起きてすぐに忘れてしまうが記録を見返すと夢を思い出す。

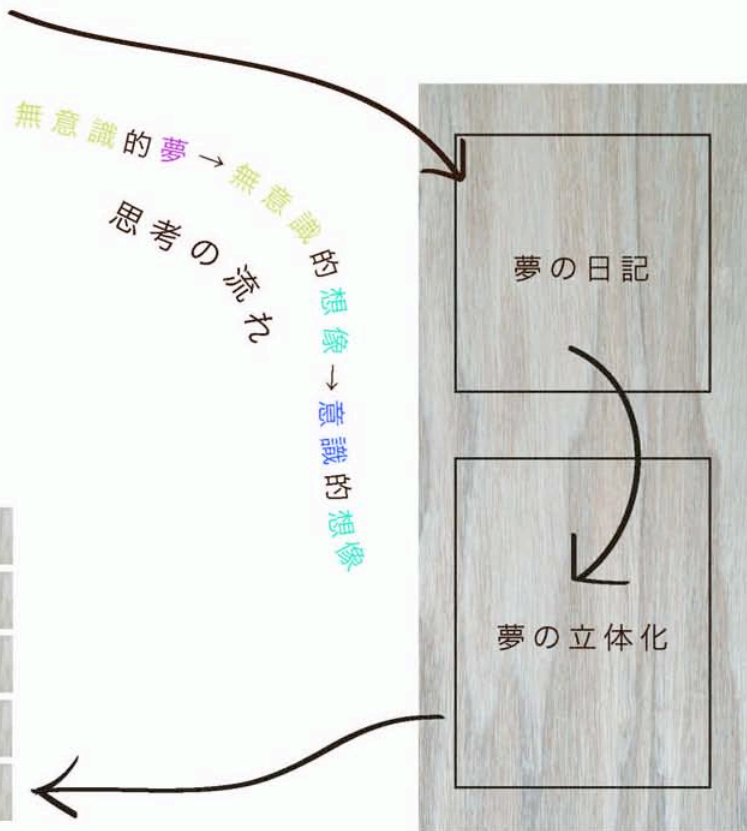


## 夢の記録

夢の記録から発展して行く途中で目標地点に到達しないとわかる夢が大半ではあるがこの実験により夢の記録の過程と普段の制作の過程が同じであると認識出来る。

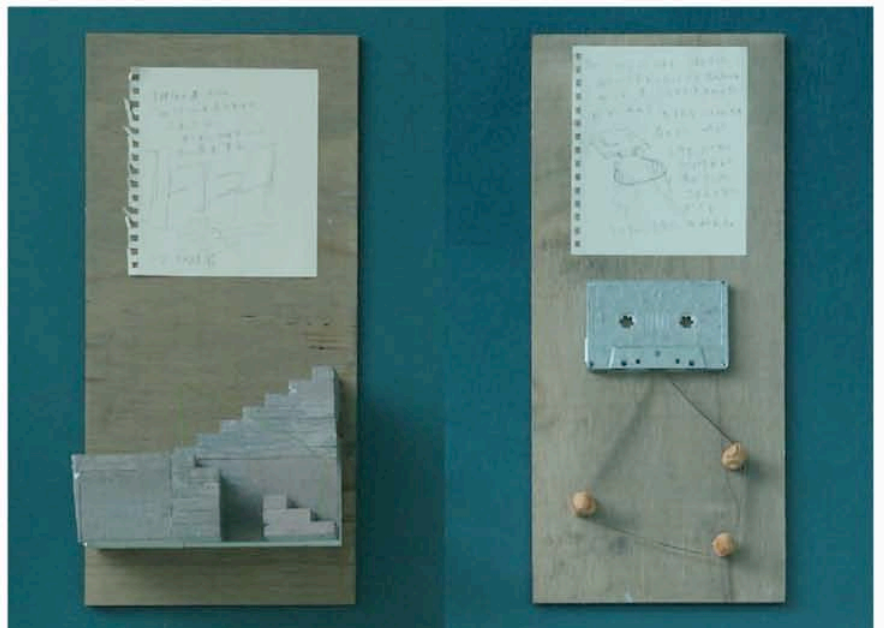
## 夢の立体化

夢の日記を読み思い出した部分、印象的な部分を立体化していく。作品制作が踏む意識的想像の中で不要な部分をそぎ落とし発展していく過程と同じ段階を踏んでいる。

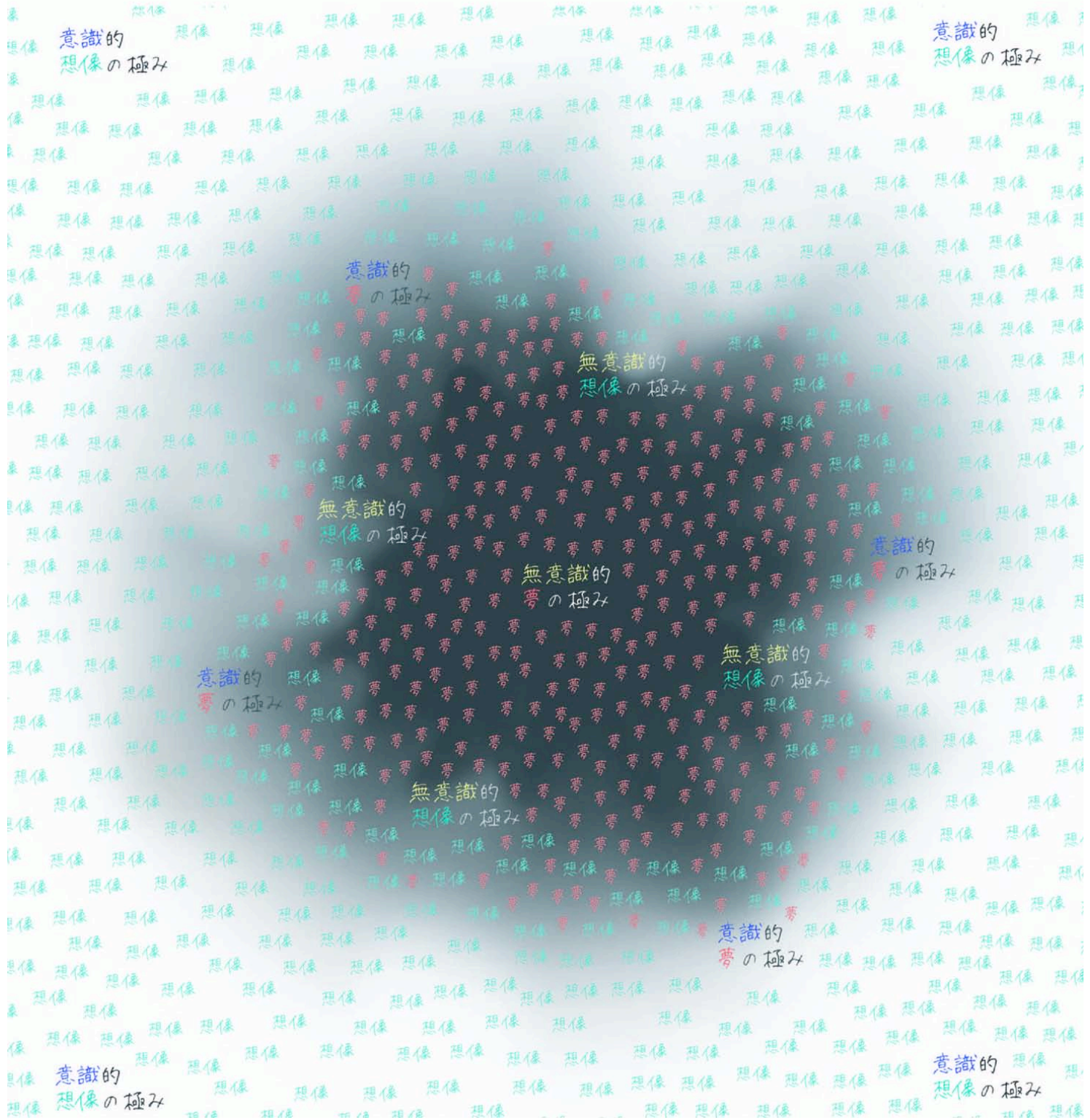


# 夢の記録と実験

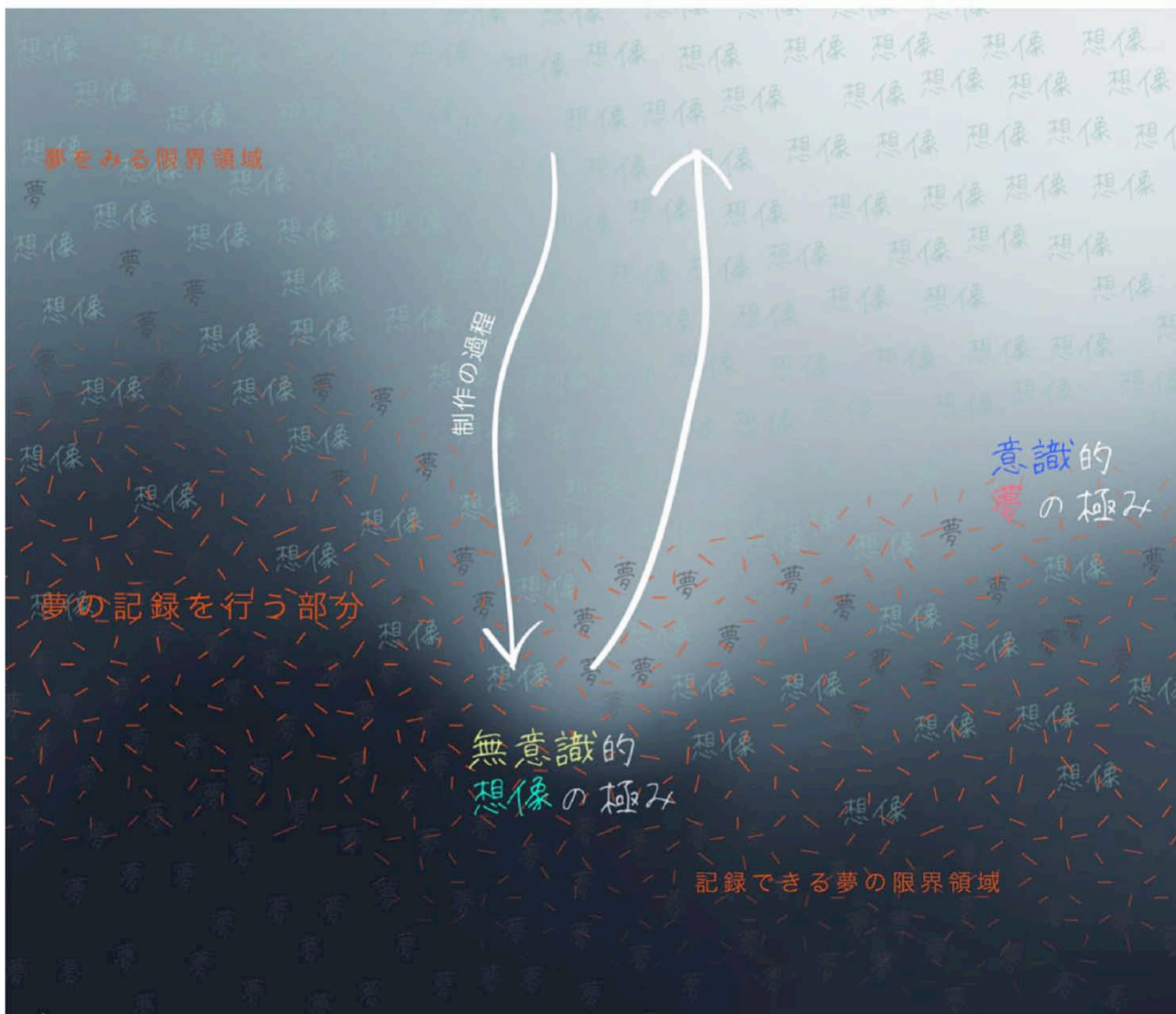
### 具体例



無意識と意識の間には境界線ではなく常に動きを持った境界域があります。



無意識的想像が意識的夢よりも、より無意識的であり  
夢の記録が出来る限界領域とおおよそ同じ位置にあります。



## 無意識—黒色、意識—白色

無意識的夢——睡眠中に見る夢（レム、ノンレム）

意識的夢——入眠段階、操作出来る夢、白昼夢

無意識的想像——意識的想像の最深部。またはフラッシュバック

意識的想像——普段の生活の中で意図して考えること。